

## 消防団長紹介

### 藤井寺市消防団 団長 吉岡 達雄

本市は昭和 41 年 11 月 1 日に市制施行しました。面積は 8.89 km<sup>2</sup>、市木は梅、市花は菊です。市の特産はいちじく、地酒、道明寺糰や小山うちわです。

みどころは、葛井寺（西国三十三箇所礼所）や百舌鳥・古市古墳群（世界文化遺産）等があり、姉妹・友好等都市は奈良県山添村、滋賀県近江八幡市、和歌山県御坊市と提携しています。

当市消防団は昭和 40 年 6 月 1 日に発団、現在、条例定数は 100 人となっており、団本部（副団長以上）、2 分団、11 班の実員数 100 人で構成されています。

従来の消火活動に加え、災害発生時における救出、救助活動なども期待されており、災害発生時の対応におきましては、その中核的役割を果たす消防団が大きな動員力と即時対応力を生かし、常備消防とともに多様な資機材を駆使して迅速に救出救助活動にも従事できるよう、その技術習得を日々図っています。

また、培った実務経験を活かし、本市の各地区における自主防災訓練に参加し、初期消火や救護訓練等の指導を通して、市民の防災意識の高揚に努めています。さらに第 40 回大阪府消防操法訓練大会小型ポンプ操法の部において優勝を収め、全国大会にも出場いたしました。今後も様々な活動を継続していくために必要となる消防団員の資質の向上を図っていくことにより、本市消防団としての活動も益々発展させることができるものと考えています。

私は、昭和 45 年 12 月 1 日に消防団に入団、平成 29 年 4 月 1 日には団長に任命されました。消防庁長官表彰（永年勤続功労章）などを受章しています。

消防団活動で特に記憶に残っているのは、入団して間もない頃のプラスチック工場の倉庫火災で、火災の規模が大きく、現場付近の川を塞ぎ止めて放水活動に従事したことを今でも鮮明に覚えています。その際、当時の団長の適格な判断と指示のもと、統率のとれた動きが大切であると感じ、あの頃に経験した活動を忘れずに、これからも郷土愛の精神のもと、消防団一丸となって安心安全な藤井寺市を築いていく所存です。

普段は、地元商店街で果実店を営んでいます。人からは温厚な性格と言われます。商店街の方々からも信頼されるよう努めています。地域防犯への貢献にも尽力しています。趣味のゴルフは、日頃の緊張感のある職務に対する癒しとなっています。

消防団は、大規模災害において、動員力、即時対応力が可能な団体として、常備消防とともに、防火、防災分野における重要な役割が求められているところです。

近年の頻発する災害を考えますと、我々の責務は、ますます大きくなってまいります。今後、あらゆる災害から地域住民の生命・身体・財産を守るため、日々、防災意識を高めるとともに、消防技術の練磨に努めてまいりたいと決意するところです。今後とも、市民の皆様にも愛され信頼される消防組織の一員として活動してまいります。